

# 教対プリント 線の上に英語だけ 3 回練習→ ( ) 埋め。 中1 L6 P88 1/2

so ソウ：とても many メニィ：たくさんの マニー

restaurant レストラン (s〜ツ)：レストラン レストラン hungry ハングリー：空腹な フングリー

which ファイチ：どっち、どの → 選択 recommend レコメンド：勧める

中1 L6 (P88)

Bob: So ( ) Chinese ( )!  
とてもたくさん、中華料理屋さんがいますね。

Kenta: I'm so ( )!  
私はとてもお腹が空いています。

( ) ( ) ( ) you ( ), Mei?  
どのレストランを あなたはお勧めしますか メイ

英語は、「あります」をよく省略します。「犬〜！」って、日本語もですね…。というように、名詞がドンと来ていたら、「〜があります」の省略かなと思ってください。ちなみに There is ゼアリーズ+単数名詞〜。または There are ゼアラー+複数名詞〜。で表します。

eat イート：食べる エアト ate エイト：食べた アテ at+場所：〜で

Why ホワイ：なぜ → 理由 Do you〜? : あなたは〜しますか。

that ザット：あれは、それは that+名詞：あの〜、その〜 this ザット：これは this+名詞：この〜

中1 L6 (P88)

Mei: Let's ( ) ( ) restaurant.  
食べましょう あのレストランで

Bob: ( ) ( ) recommend ( ) restaurant?  
なぜ あなたは勧めるのですか あのレストランを

「の」を脳に馴染ませよう。「〜の」+名詞はセットになる。

What sport do you like? (何のスポーツが好きですか。)とか、Whose book is this? (これは、誰の本ですか。)などです。Look at that man. (あの人を見て。)のように、that+名詞(あの名詞)と this+名詞(この名詞)も大切です。

英文の下に、日本語訳を書きなさい(スラッシュごとに)。

音読する(おうちで) 秒数↓

Bob: So many Chinese restaurants !

1 回目

Kenta: I'm so hungry!

秒

Which restaurant / do you recommend, Mei ?

2 回目

秒

Mei: Let's eat / at that restaurant.

3 回目

Bob: Why / do you recommend / that restaurant ?

秒

● カッコ

# 教対プリント 線の上に英語だけ 3 回練習→ ( ) 埋め。 中1 L6 P88 2/2

because ビコズ：なぜなら

their ゼア：彼らの

special スペシャル：特別な

it イット：それ → 代名詞。今回は their lunch special のこと。●「これ、あれ」と訳す時もある。訳さないほうが多い。

come カム：来る ●主語が食事なので、「提供されます」と訳すと自然な文になる。だが、これを分かった上で「来る」と訳す。

with ウィズ：一緒に

中1 L6 (P88)

Mei : ( ) ( ) lunch special is very good.  
 なぜなら 彼らのスペシャルランチは とても良いからです。(店員さんみんなで作っているから、「彼らの」their)  
 ( ) ( ) ( ) a spring roll and a dessert, too.  
 それは(ランチは)来ます 一緒に スプリングロールとデザートと も

返事は、質問文の「主語＋動詞」で答え始める。ただし主語は代名詞にする。(例) Who is **that boy**? **He** is Taro. ←書く

in＋言語：～で

What's ワッツ：What is の短縮形

there ゼア：そこに、そこへ、そこで

中1 L6 (P88)

Kenta : What's a spring roll ?  
 スプリングロールって何ですか。 ←質問文に対する「返事」は、質問文中の「主語＋動詞」で答え始めます。これは、英語のルールです。よってメイは、これから「スプリングロールとは、～です。」と答え始めますので…

Mei : ( ) ( ) Harumaki ( ) Japanese.  
 ↑「主語＋動詞」↑ 春巻き 日本語で

Kenta : Oh, I love harumaki!  
 おお、私は春巻きが大好きです。

Kenta : Let's go ( ) !  
 行きましょう そこへ

英文を読んでいて代名詞を見つけたら、2回目なので、積極的に日本語にしなくて良い。  
 Who is **that boy**? (あの少年は誰ですか。) **He** is Taro. (太郎ですよ。) のように。  
 英文の主語も、2回目は省略されがちですが、主語以外の2回目は(代名詞は)、省略しないで書くほうが良い。「ぼくはサッカーが好きで、よくテレビで見ます。」を英文にすると…  
 I like **soccer** and often watch **it** on TV. のように、主語の I は省略しても **it** は書く。

英文の下に、日本語訳を書きなさい(スラッシュごとに)。

音読する(おうちで) 秒数↓

Mei: Because / their lunch special is very good. ☒ it は【そして】とか【で】と訳す。

1回目  
 \_\_\_\_\_ 秒

It comes / with / a spring roll and a dessert, too.

Kenta: What's a spring roll ?

質問文の「主語＋動詞」で答え始めるのが英語です。なのに無い。  
 質問文の主語は a spring roll で、動詞は is です。(ちなみに主語は代名詞にしますので、a spring roll は it になります)、  
 本当はメイは、「It is Harumaki in Japanese.」と言うべきでした。※この It is が、上の穴埋め問題の正解です。

2回目  
 \_\_\_\_\_ 秒

Mei: Harumaki / in Japanese. ←

3回目  
 \_\_\_\_\_ 秒

Kenta: Oh, I love harumaki !

上で話した通り、主語の代名詞は、日本語も英語も省略されがちです。さらに友人間では、動詞も一緒に省略されがちです。よってメイは、主語の it も動詞の is も省略して、「Harumaki....」と言ったわけです。

●カッコつけて読む。

Let's go there!

(例) Do you like TV? Yes. も

What do you want to eat ? Sushi. も同様です。

# 教対プリント 線の上に英語だけ3回練習→ ( ) 埋め。 中1 L6 P90 1/2

full フル：いっぱい (満ちた状態を表す形容詞)      ate エイト：食べた      a lot：たくさん (1つ扱いの名詞)

am と is→was ワズ      are→were ワー      delicious デリシャス：美味しい

🌻 中1 L6 (P90)

Bob: I'm full. ( ) ( ) a lot!  
ぼくはお腹いっぱいです。 私たちは食べました たくさん

My fried noodles ( ) so delicious.  
私の焼きそばは でした とても美味しかった (→とても美味しかったです)

liked ライクトウ：好きでした      enjoyed エンジョイドウ：楽しみました

mine マイン：私のもの      know ノウ：知っている      also オールソウ：～もまた (一般動詞の前に置く)

someone サムワン：誰か      left レフト：出発した、残した (leave リーブ：出発する、残す、～のままにしておく)

🌻 中1 L6 (P90)

Aya: I ( ) the spring roll, too. ←この the って何?  
私は好きでした 春巻きが (も)

Kenta: I ( ) ( ), too.  
俺は (も) 楽しみました 自分のものを

Aya: I ( ). You also ( ) Mei's spring roll.  
私は知っています。 あなたは 食べました メイの春巻きを (も)

Kenta: Hey, ( ) ( ) a dessert.  
ヘイ 誰かが 残したよ デザートを

※翻訳：「誰かがデザートを残しているよ。」(現在形で言う)

2回目なのに、代名詞にしないことがあります。その場合、the book のように the をつけます。何でもかんでも2回目を代名詞にすると、話が分かりづらくなりますよね。

文中に also (～も) が出てきたら、いったん無視して訳し進めましょう。最後まで読むことで、文脈から、どこに「も」を入れたら良いか分かります。

英文の下に、日本語訳を書きなさい (スラッシュごとに)。

音読する (おうちで) 秒数↓

Bob: I'm full. We ate a lot !

My fried noodles were so delicious.

Aya: I liked / the spring roll, too.

Kenta: I enjoyed / mine, too.

Aya: I know. You also ate / Mei's spring roll.

Kenta: Hey, someone left / a dessert.

日本語の「も」を言うタイミング。  
英語の too と also は、ともに「も」という意味です。特に too は、文末に来るので、紙なら読み返しができますが、会話中に出てきたら焦りますよね。「うわ、今さら登場?」、なんて…。

そこで解決法は…、「無視をする」です。無視して最後まで文を読んで (聞いて)、どこかのタイミングで分かった時に、「ここ!」と思えば OK です。

1 回目  
\_\_\_\_\_ 秒

2 回目  
\_\_\_\_\_ 秒

3 回目  
\_\_\_\_\_ 秒

● カッコつけて読む。

ラストの1文: someone left まで読んで (または聞いて)、「誰かが出発した」なのか「誰かが残した」なのか、まだ分かりませんよね。こういう多義語、日本語にもたくさんありますよね。「昨日、ハシが気になって～」とか…。そんな時は【両方とも心で思う】が正解です。で、読み進めるうちに、どっちの left が分かったら、「ああそっちな」と思えば良いのです。そしてこの能力が、長文を速く読むコツにつながります。訓練あるのみ! です。



# 教対プリント 線の上に英語だけ3回練習→ ( ) 埋め。 中1 L6 P90 2/2

Whose フーズ+名詞：誰の名詞

Is that～?：あれは（それは）～ですか。

mine マイン：私のもの

yours ユアーズ：あなたのもの

my マイ：私の

your ユア：あなたの

中1 L6 (P90)

Kenta : ( ) dessert is ( ) ?  
誰のデザートですか それは

Mei : It's not ( ). Is it ( ), Bob ?  
私のではありません。 あなたのですか。 ボブ？

このメイのセリフは、どちらの文も、主語は **it** で、  
ケンタの文の **that** の代名詞です。そして何度も  
くり返して恐縮ですが、**it** は原則訳さないほう  
が、自然な日本語になりますので、今回訳しませ  
んでした。

● my か mine か：my book のように、後ろに名詞が来る時は、my です。「これは私のです。」は This is mine. です。  
後ろに名詞が来ていないからですね。つまり、日本語で判断するのではなくて、名詞が続くかで判断しましょう。

not ～ any more：もうこれ以上～ない

eat イート：食べる ※エアトとか、エアテと言いながら練習しよう。

Who + 動詞：誰が～、誰か 疑問詞は主語になると「が」と訳す。時々「か」と訳す（例）誰かいますか～？ ←書く

want ウォント (s ツ)：ほしい

want to：したい

do：代動詞 今回は want の2回目として

中1 L6 (P90)

Bob : Yes, it's my almond jelly. I ( ) eat ( ) ( ).  
はい、僕のゼリーです。 僕はもうこれ以上、食べることができません。

Mei : Who ( ) it ?  
誰か欲しいですか。

Kenta : I do! Thanks.  
オレが欲しいです。ありがとう。

2回目ですので（代名詞の **it** のこと）、メイのセリフ  
中の **it** を訳しませんでした。ケンタの文にいたって  
は、3回目ですので、書きさえしていません。本当は  
**I want it.**（オレがそれを欲しいです。）です。

代動詞

ケンタの **I do!** の **do** は、  
**want**（ほしい）の代わりです。  
代名詞ならぬ代動詞と言います。

Do you like soccer ?  
Yes, I do. ←この **do** も。

● 「誰がスパイですか。Who is a spy?」「誰かそれを知っていますか。Who knows that?」のように、主語になった疑問詞（今  
回は Who）は、「～が」または「～か」と訳します。

英文の下に、日本語訳を書きなさい（スラッシュごとに）。

音読する（おうちで）秒数↓

Kenta: Whose dessert / is that ?

☒ it は、原則、訳さなくてOKです。

1 回目

Mei: It's not mine.

Is it yours, Bob ?

・何が（何か）～ですか。  
・誰が（誰か）～しますか。

のように、疑問詞はよく主語になります。訳は「～  
が」「～か」です。ちなみに、主語になった疑問詞は、  
三人称単数扱いになりますので、**he** や **she** と同じ  
く、現在ならば、**be** 動詞は **is** で、一般動詞には **s**  
または **es** をつけます。

秒

2 回目

Bob: Yes, it's my almond jelly.

I can't eat any more.

（例）Who is here ?

（誰かいませんか～。）

（例）Who makes dinner ?

（誰が夕食を作りますか。）

秒

3 回目

Mei: Who wants it ?

Kenta: I do!

Thanks.

そして例のように、「主語+動詞～」の形になります。  
つまり、肯定文と同じ語順になります。

秒

● カッコ

つけて

読む。

# 教対プリント 線の上に英語だけ3回練習→ ( ) 埋め。 中1 L6 P92 1/2

look at : 見る      all オール : すべて      **all the** boys : 男子全員 = all of the boys とも言う

in イン : 「～の中」を表す      that+名詞 : あの名詞      Those are ゾウズ アー : あれらはです

🌻 中1 L6 (P92)

Kenta : Look at (      ) (      ) sweets (      ) (      ) store !  
 見て      すべてのスイーツを      あのお店にある      ●お店の中にあるから in です。

Mei : (      ) (      ) all Chinese sweets.  
 あれらはです      すべて 中国のスイーツ

all (the) + 複数名詞 : すべての～。が基本だが、形容詞が入り、長くなる句では、the は省略される。

What are～? : 何ですか      those+名詞 : あれらの名詞      yellow イエロー : 黄色

it 前の名詞そのもの (複数 they : ゼイ)      one 前と同じ名詞だが、別のもの (複数 ones : ワンズ)

They are ゼイアー : それらはです (複数名詞の2回目)      favorite フェイバリット : お気に入りの

🌻 中1 L6 (P92)

Kenta : (      ) are (      ) yellow (      ) ?  
 何ですか      あれらの      黄色い      スイーツは

Mei : (      ) (      ) egg tarts.  
 それらはです      エッグタルト

My mom's (      ).  
 私の母のお気に入り (のスイーツ) です。

最後の文は、They are my mom's favorite. (それらは私の母のお気に入りです。) の省略形です。

it と one について  
 両方とも「それ」と訳す代名詞です。違いを例文で…  
 (例) Taro has a book. (太郎は本を持っている。) に対して、「ぼくも同じ本を持っているよ。」と言う時は、it と one のどちらでしょうか。  
 I have (      ), too. (ぼくもそれを持っています。)  
 答えは one です。it にしてしまうと、太郎と共有していることになります。ちなみに one の複数形は ones です。

## 英文の下に、日本語訳を書きなさい (スラッシュごとに)。      音読する (おうちで) 秒数 ↓

Kenta: Look at / all the **sweets** / in that store !

1 回目  
 \_\_\_\_\_ 秒

Mei: Those are / all / Chinese **sweets**.

2 回目  
 \_\_\_\_\_ 秒

Kenta: What are / those yellow **ones** ?

Mei: They are / egg tarts.      My mom's favorite.

3 回目  
 \_\_\_\_\_ 秒

この those は主語かな? と思ったとします。: What are those? (あれらはなんですか。) の those は主語ですが、Who are those boys? (あの少年たちは誰ですか。) の those は主語の一部です (those boys で主語です)。そんな those ですが、those の後ろに名詞が続いている場合は、those dogs (あの犬たち) のように、「あれらの、あの」と訳します。というように、英語の【型】を、理屈で覚えてほしいのです。さらに…

What is this? (これは何ですか。) の主語は this です。という何気ない文からも「ということは、be 動詞の疑問文は、be 動詞の次が主語になるんだな」と思ってほしいのです。すると、少々複雑になった Who are those boys ? も、those boys が主語だと断言できるようになります。というように、法則は、自分で作るのです。そのために中学生の間は、できるだけたくさんの基本を身に付けてください。それらがすべて、【法則を導く土台】となるからです。

●カッコつけて読む。

# 教対プリント 線の上に英語だけ 3 回練習→ ( ) 埋め。 中1 L6 P92 2/2

get : 手に入れる

some サム : いくつか、いくらか、何〜か (漠然とした数、量を表す) ←書く

for : ~のために

前置詞と言い、後ろに代名詞が続く場合、3 番目 (目的格) になる。 ←書く

necessary ネセサリー : 必要な

bake ベイク : 焼く

中 1 L6 (P92)

Kenta : Get ( ) for ( ) ?

お母さんのために、いくつか手に入れましょう。

Kenta : Well, that's not ( ). My dad ( ) delicious egg tarts.

えっと、それは必要ありません。 私の父が 焼くからです 美味しいエッグタルトを

もとは、Get some egg tarts for her.で、くり返しになるので (them になることさえ飛び越えて) egg tarts が省略されたのが本文です。

Do you like soccer ? Yes, I do.も、2 歩手前は、Yes, I like it. で、さらに like が do になって、最終的に it が省略された形です。

上記の「焼くからです」を見てください。理由を表す接続詞 because が無いにも関わらず、勝手に「から」が補われてますね。理由はシンプルで、そのほうが、文脈的に自然だからです。このように、【単語の意味だけを拾った訳で理解】するよりも、【文脈に合わせて訳をいじる】ようにすると、内容がつかみやすいです。これが英語を得意にするコツです。※話は変わって、以下はテストです。

単数		主格	所有格	目的格	
		は、が	の	を、に	~のもの
1 人称	私				
2 人称	あなた				
3 人称	彼				
	彼女				
	それ				
	亜紀				
複数		主格	所有格	目的格	
		は、が	の	を、に	~のもの
1 人称	私たち				
2 人称	あなたたち				
3 人称	彼ら				
	彼女ら				
	それら				

単数		主格	所有格	目的格	
		は、が	の	を、に	~のもの
1 人称	私	アイ I	マイ my	ミー me	マイン mine
2 人称	あなた	ユー you	ユア your	ユー you	ユアーズ yours
3 人称	彼	ヒ he	ヒズ his	ヒム him	ヒズ his
	彼女	シ she	ハー her	ハー her	ハーズ hers
	それ	イット it	イツ its	イット it	
	亜紀	Aki	Aki's	Aki	Aki's
複数		主格	所有格	目的格	
		は、が	の	を、に	~のもの
1 人称	私たち	ウィ we	アウワ our	アス us	アウワーズ ours
2 人称	あなたたち	ユー you	ユア your	ユー you	ユアーズ yours
3 人称	彼ら	ゼイ they	ゼア their	ゼム them	ゼアーズ theirs
	彼女ら	ゼイ they	ゼア their	ゼム them	ゼアーズ theirs
	それら	ゼイ they	ゼア their	ゼム them	ゼアーズ theirs

英文の下に、日本語訳を書きなさい (スラッシュごとに)。

音読する (おうちで) 秒数 ↓

Kenta: Get some / for her.

Kenta: Well, that's not necessary.

My dad bakes / delicious egg tarts.

(上記「焼くからです」の補足) 英文とは、「文脈的にずれていないならば、」その中に思いを込めて良い、ということです。You sing a sad song just to turn it around.この歌詞の直訳は「あなたは歌を歌います。何かを変えるために。」ですが、文脈が分かれば、こうとらえることができます。「あなたが悲しい歌を歌うのは、本気で何かを変えたいからですよね。」に。(急に出てきた it は、意味がない→何か)

some について : a little (少し)、many (たくさん) 以外の場合、つまり、はっきりしていない (あいまいな) 様子さえも表現しようとする言語、それが英語です。ですので、some をよく使うわけです。一方日本語は、表現しません。たとえば、「昨日何してた?」と聞かれて、「本を読んで過ごしたよ。」と、日本語では答えると思います。あえて「何冊か読んで過ごしたよ」とは言いませんよね。けれど英語は、I read some books.のように、some (何冊か) を使うのです。ということは、日本人は、英文中に出ている some は、不自然じゃなければあえて訳さなくて良い!ということになります。(例) I drink some milk every morning. (私は毎朝、牛乳を飲みます。) で良い、ということです。

1 回目  
\_\_\_\_\_ 秒  
2 回目  
\_\_\_\_\_ 秒  
3 回目  
\_\_\_\_\_ 秒  
● カッコ



# 教対プリント 線の上に英語だけ3回練習→ ( ) 埋め。 中1 L6 P93 1/1

in fact イン ファクト：実際に、つまり

be good at ～ing : ～することが得意です

made メイド：作った

last ラスト：この前の、最後の

night ナイト：夜

Did you 一般動詞～? : あなたは～しましたか。

have : 食べる

☀ 中1 L6 (P93)

Kenta : He ( ) ? 一般動詞の2回目は、代動詞として do, does, did を使います。  
彼が焼くのですか。

Mei : ( ) ( ) , ( ) ( ) at ( ) .  
実際に 彼は料理をすることが得意です

: He ( ) dinner ( ) ( ) .  
彼は 作りました 夕食を 昨夜

Kenta : ( ) ( ) ( ) ( ) ?  
何を あなたは食べましたか

～, … : カンマは補足を表す。日本語にすると、「～です、～で、～ですが」です。会話では「一拍」おくか、and を使います。

☀ 中1 L6 (P93)

Mei : Coconut curry soup, my favorite.  
ココナッツカレースープで、私のお気に入りです。

: ( ) ( ) just great !  
それは でした 本当に美味しい

【名詞, ～】の形で、カンマ以下が、直前の名詞の補足を表します。

(例) That boy, my brother, likes soccer.

(あの少年は、私の弟なのですが、サッカーが好きです。)

左の文はもともと、I had Coconut curry soup, my favorite.

(私は CCS を食べました。私のお気に入りなんです。) という文です。

Kenta : He ( ) ( ) everyone's favorite. I admire ( ) . admire アドマイヤ :  
彼は 作ることが みんなのお気に入りを 私は彼を素晴らしいと思います。 称賛する  
できるんですね

代名詞の使い方 : for などの前置詞の次は、3番目にする (I my me mine の me)、というお話を前回しましたが、一般動詞の次も3番目にします。I know him. (私は彼を知っています。) のように。主語で1、一般動詞で2とすると、1と2の次なので3番目と覚えましょう。

## 英文の下に、日本語訳を書きなさい (スラッシュごとに) 。

音読する (おうちで) 秒数 ↓

Kenta: He does ? Does he bake them ? (彼がタルトを焼くのですか。) がフルです。タルトは代名詞 (them) にさえなれず落ち、bake は動詞で落ちず does となり、Does he ～? ともならず、抑揚でカバーされた。というわけです。かなりの英語力がつまった文です。

1 回目  
\_\_\_\_\_ 秒

Mei: In fact, he's good at / cooking. He made / dinner / last night.

2 回目  
\_\_\_\_\_ 秒

Kenta: What / did you / have ?

just ジャスト (本当に) は、次に来る語句を強調し、great は good (良い、美味しい) の強調形です。

Mei: Coconut curry soup, / my favorite. It was just great !

3 回目  
\_\_\_\_\_ 秒

Kenta: He can make / everyone's favorite. / I admire / him.

What did you have? (あなたは何を食べましたか。) と聞いてきたケンタに、メイは中1生なので、I had CCS, my favorite. と、完全な文で答えるべきでした。メイが「主語＋動詞」を省略したのは、繰り返したからです。つまり新情報ではないからです (言わなくても分かるでしょ? と…)。英文とは、質問文の「主語＋動詞」で答え始めるのがルールです。

● カッコつけて読む。